

建設常任委員会行政視察（概要）

1 視察日

令和7年5月21日（水）～22日（木）

2 視察項目（視察都市）

- ・コミュニティバス事業について（大和市）
- ・町田薬師池公園の管理運営について（町田市）

3 参加委員

委員長：円藤こずえ 副委員長：永田 真樹

委員：佐藤 恵、米川 勝利、川口 元気、北原 正、仁木 和芳

4 調査概要

大和市では身近な移動手段を持たない市民の移動手段の確保と円滑化を図る目的として平成14年からコミュニティバス運行事業を実施し、高齢者や子育て世代など、移動に制約がある人の日中の移動手段の確保や交通利便性の向上につなげている。地域と駅や商業施設等を結び、ほぼ全ての公共施設が駅から1kmまたはバス停から300m以内に位置することを実現した。一方で、広範となった運行経路の見直しや利用促進等の視点で再編検討にも取り組んでいる。



町田薬師池公園 四季彩の杜 西園は2020年に開園し、様々なイベントを開催するラボや地場食材を使ったカフェ・レストランやライブラリー・ラウンジ等が点在し、丘を越えると果樹園や花畑、里山の自然や風景も楽しむことができる。指定管理者が運営管理を行い、来園者を維持する工夫として、全スタッフへの理念研修の実施、自主事業の積極的な実施、外部からの企画の受入れ、行政からの委託事業の実施等を行っている。

5 委員長所感

大和市では、コミュニティバスが駅、病院、スーパーにとどまらず、公園やコミュニティセンター等にも立ち寄り、移動手段を持たない市民の交通を確保し、安価に外出できる仕組みづくりをされている。本市において、移動手段確保は喫緊の課題であり、大和市の事業を参考に3つの民間バス事業者と共存しながら、移動手段困難地域への対応も進めていかなければならないと感じた。

町田市 四季彩の杜 西園では、指定管理者3社の共同事業体の全スタッフが管理運営のコンセプトを理解し、統一した意識で業務にあたる等、大変な熱意をもって取り組んでおられた。また、来園者を減らさないための工夫を意識し、外部からの企画も受入れる等、積極的な事業展開をされている点が印象に残った。これからの本市の都市公園づくりの参考にしたい。